

2019 年度
大東文化大学青桐会
全国各支部からの質問・要望

大学からの回答

【就職関連】	P. 1～
【教務関連】	P. 2～
【教職関連】	P. 4～
【学生生活関連】	P. 5～
【施設設備関連】	P. 7～
【スポーツ関連】	P. 8～
【留学関連】	P. 9～
【広報関連】	P. 10～
【その他】	P. 12～

※2019 年 7 月から 8 月にかけての青桐会全国支部総会で
会員様よりいただいた大学への質問・要望に対する回答を
いただきました。

【就職関連】

1. 就職支援センターの留学生への支援が少し弱いように感じます。2月に帰国してから就職活動をスタートしても間に合うのでしょうか。

【回答】 就職情報サイトは3月に情報解禁となりますが、それ以前の準備が必要です。

2月に帰国しても、就職活動をスムーズにスタートできるよう、支援を行っております。また、キャリアセンター最大のイベントである、『学内就職セミナー』は3日間で300社が集結する合同説明会を3月の始めに実施しています。

①ガイダンスについて

キャリアセンターでは、留学に行く学生向けに『留学×就活ガイダンス』を行っております。

留学に行く前、留学に行っている間、留学から帰国後に準備すべきことをお話しております。

②メールによる個別フォローについて

個別のフォローとして、留学先からでも就活に関する疑問・不安等を解消できるように、メールでの相談を行っております。

これまで、疑問・不安等の問合せだけでなく、履歴書、ES(エントリーシート)添削も実施しております。

③就職活動手帳について

就職活動に関する情報を盛り込んだ就職活動手帳を3年生全員に無料で配布しております。

以上の支援も行っておりますが、留学前後の個別面談も随時行っております。

ご希望の場合は、キャリアセンターまでお問い合わせください。

2. キャリアセンターの支援行事の公務員向け講座について東松山キャンパスでも増やすことは可能でしょうか。

【回答】 東松山キャンパスでは、低学年向けの公務員講座を実施しています。3年生は対象者が限られることから、学内での講座を設定することは難しい現状ではございますが、外部の公務員予備校と提携し、本学特別価格での講座を提供していただいたり、予備校講師から勉強の仕方や面接対策などの説明を受けられる「公務員なり方講座(無料)」を実施していただいたりと、対応しております。今後も、希望者の動向を注視しながら、講座の設置を検討してまいります。

【教務関連】

3. 昨年、看護学科で取得できる資格（保健師、助産師、養護教諭等）の作業部会を設けて検討中と回答がありましたが、進捗がありましたらご回答願います。また、大学院研究科については、今後設置の予定はありますか。

【回答】保健師の養成は完成年度後（2022年度～）に設置する方向で現在準備中です。作業部会にて、すでに準備を進めており、カリキュラム等を検討中です。養護教諭につきましては、保健師資格を取得することで、2種の資格取得が可能であり、保健師養成とあわせて取得できるカリキュラム等を検討しています。

大学院研究科については、すでにスポーツ・健康科学研究科があります。看護教員が兼任して在籍しており、卒業後そのまま進学（健康科学）が可能です。今後さらに看護教員の大学院兼任を増やす方向で検討中です。助産師養成につきましても検討中です。順次、具体化していく方針です。

4. 歴史文化学科はこれから3年次を迎えることになり、板橋校舎に移りますが、学科として今後の展望を教えてください。

【回答】2020年度・歴史文化学科の展望

2020年度の歴史文化学科は、学科開設から3年目を迎え、1期生が3年次に進級し、彼らの学生生活の舞台は板橋キャンパスに移ります。日本史コース・東西文化（東洋史・西洋史）コース・観光歴史学コースにおいて8つのゼミも開講し、4年次の卒業研究に向けて学習の総仕上げに着手します。また、いよいよ就職活動も始動しますので、学科の専任教員9名も総力を挙げて、学生たちが希望する進路に進むことが出来るよう御父兄の皆様とともに支援していきます。既に観光歴史学コースでは、本年度までに数名の学生が「国内旅行業務取扱管理者」の国家試験に合格しており、学生たちの就職活動に対する意識の高さがうかがわれます。

5. 問題解決型（アクティブラーニング）の授業は、全学部で実施しているのでしょうか。

【回答】専門演習（ゼミ）が該当するかと思料します。

6. 必修科目と取得希望科目の時間割が重なることが多く、希望科目を受講できない場合があり、学習意欲の低下に繋がります。また、キャンパスが変わると、より困難になることもあります。解決策を検討してください。

【回答】 学生は4年間で修得科目のプライオリティを理解し、計画的に履修計画を立ててください。必須科目とは、その学部の教育の根幹と位置付けているので、各人が学びたいと思っている希望科目は必須科目を修得した上で修得してください。全学生の希望に応えるような時間割を編成することは困難です。ご希望に添えるか判りませんが、必修科目と希望する科目が重複している場合は、東松山教務事務室・各学部事務室にお問い合わせください。

【教職関連】

7. 教育課程の単位の取り方が変わったと聞きました。どの様に変更されたのか教えてください。

【回答】

旧法令名	単位数		新法令名	単位数
A教科に関する科目	幼：10 単位以上 小：12 単位以上 中高：20 単位以上	⇒ 変 更 有	A 教科及び教科の指導法に関する科目	幼：16 単位以上 小：30 単位以上 中：28 単位以上 高：24 単位以上
B教職に関する科目	幼：37 単位以上 小：46 単位以上 中：27 単位以上 高：35 単位以上	⇒ 変 更 有	B 教育の基礎的理解に関する科目等	幼：21 単位以上 小：27 単位以上 中：27 単位以上 高：23 単位以上
C教科又は教職に関する科目	幼：10 単位以上 小：10 単位以上 中：8 単位以上 高：16 単位以上	⇒ 変 更 有	C 大学が独自に設定する科目	幼：14 単位以上 小：2 単位以上 中：4 単位以上 高：12 単位以上
合計（A + B + C）	幼：57 単位以上 小：68 単位以上 中：63 単位以上 高：71 単位以上	⇒ 変 更 有	合計（A + B + C）	幼：51 単位以上 小中高共通：59 単位以上
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	幼小中高共通 日本国憲法：2 単位 体育：2 単位 外国語コミュニケーション：2 単位 情報機器の操作：2 単位	⇒ 変 更 な し	教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	幼小中高共通 日本国憲法：2 単位 体育：2 単位 外国語コミュニケーション：2 単位 情報機器の操作：2 単位

8. 2019年度保護者のためのガイドブックに記載されている学部・学科別取得教育免許状の種類や取得不可になった内容が受験の際にわかりづらいので入試関係のクロッシング等でわかりやすく記載していただきたいと思います。また、副免許取得についても同様に回答をお願いします。

【回答】入試広報課と相談の上、検討させていただきます。なお、副免許取得については、対外的には広報活動が出来ないことになっておりますので、ご了承ください。副免許の取得方法につきましては、4月の当初ガイダンスや7月上旬に説明会を実施して、学内周知を図っています。

【学生生活関連】

9. 東松山校舎の食堂は、昼食時混雑するため、講義開始に間に合わないことがよくあるようです。改善策についての検討をお願いします。また、学食を体験しましたが、少し高額な印象でした。

【回答】東松山校舎では、8学部の1・2年生および2学部の3・4年生、また大学院2研究科の学生が学んでおります。受講生は、火曜日2時限目に履修している学生が約7200名と一番多く、月～金までの2時限目は平均約6500名が履修しております。現在は食堂3店舗（生協・東洋食品・IVCS）、レストラン1店舗（生協）、売店6店舗（セブンイレブン・進明堂・生協購買部・サブウェイ・5号館2階カフェ・東洋食品カフェ）で運営しており、食堂の収容席数は総計で約1700席となっております。食堂の座席数では到底足りてはおりませんが、7号館や2号館でのお弁当販売や、食堂以外でも学生さんが用意した食事をとれる場所が各所にあります。暑さ寒さの時期には、教室などをうまく使っていただくことも一つです。

現在の東松山校舎内で食堂を増設することは非常に難しいと思われまます。解決策といたしましては、学生さんが登校した際先に食券を購入するなど昼食時間前に準備をすることや、通学途中や学内の売店で用意するなど工夫をお願いしたいと考えており、学生支援課からもDBポータルや掲示などで協力をお願いしたいと思ひます。なお、さらなる解決策につきましては、今後も関係部署と検討をしてまいります。

学食が高額な印象は否めませんが、最低賃金の引き上げや消費税の引き上げなどその都度それぞれの業者と話し合っております。引き続き業者とは話し合っていくたいと思ひます。

10. 安全互助会制度について、ちょっとした病気で医者にかつても領収書により医療費の助成を受けられる等の周知をわかりやすくお願いします。また、助成についての回数制限や金額上限はあるのでしょうか。

【回答】安全互助会制度につきましては、本学独自の制度となっております。周知につきましては、年度当初の各学科ガイダンス時に伝えております。また、学生手帳に給付の範囲や手続きなど、わかりやすく記載しております。今年度よりHPに学生手帳を掲載いたしましたのでご確認ください。病気等で医者にかかった際の医療見舞金は、1カ月の保険診療の自己負担額が900円以上で対象となります。同一の負傷や疾病について医療開始後1年以内の費用を支給します。支給月額限度額は、学校の管理下外の同一疾患では15万円までです。回数の制限はありません。

11. 昨今、いろいろな事件（犯罪）が発生していますが、学生の中にも知らず知らずのうちに犯罪者になり得ることもあるのではないかと心配です。そのようなことに巻き込まれないように、講習会などを開き、予備知識（予防法）を伝えておいて頂きたいです。
（振込詐欺、マルチ商法、バイトテロ、薬物、あおり運転等）

【回答】 年度当初の学生支援課ガイダンスにおいて説明をしております。また、何か事件等発生し学生に伝えておいたほうが良い事項は放送またはDBポータルにて注意喚起しております。新入生には少人数の必修科目担当の先生方より授業時間を利用して、入学時に配布している学生手帳と防災対応マニュアルの説明を実施していただいております。内容は、防災対応マニュアルと学生手帳に記載のある注意事項抜粋の説明となります。すでに毎年説明している内容に、加害者にもなり得る振込詐欺やあおり運転についても追加し説明していただくよう依頼いたします。

【施設設備関連】

12. 高坂駅のスクールバスの列に並ぶ様子を見てびっくりしました。同じ時間帯に通学する人数が多いため、やむを得ないことだと思いますが、乗車できずに遅刻をしてしまうことがありました。何か改善策はありますか。

【回答】通学する学生の利便性を図るとともに高坂駅前の混雑緩和のため、東武鉄道には以前よりダイヤ編成について高坂駅に停車する車両(快速の停車等)の増便を依頼しておりますが難しい状況です。また、高坂駅前にはスクールバスへの整列乗車のための誘導警備員を配置しておりますので誘導警備員の指示に従い乗車いただき、なるべく時間に余裕をもって通学をするようお願いいたします。

【スポーツ関連】

13. 100周年（2023年）に向けてスポーツ寮の建築計画はありますでしょうか。体育会系の学生が大学を選ぶ際には、まず見るのは学生寮であり、保護者にとっても学生寮における生活環境は大いに関心があります。

【回答】令和2年度 並びに令和1年(平成31年)度 学校法人大東文化学園 基本方針・行動計画の中にも、継続的に総合スポーツ寮の検討が盛り込まれています。また、一昨年より、東松山校舎への利便性の高い、土地候補地を当たっております。

14. スポーツ寮で2度のボヤ騒ぎの報告がありました。清掃も行き届いていないように見受けられます。各スポーツ寮における危機管理と衛生管理における管理体制はどのようになっていますでしょうか。また、昨年度ご質問させていただきましたWi-Fiの設置と食事（味付け、内容、衛生面）の改良について、進捗がありましたらご回答願います。

【回答】スポーツ振興センター指導の下、日常的には、各運動部に管理を任せております。ランダムではありますが、スポーツ振興センターで寮の見回りを行っております。小火のあった寮につきましては、貸主と協議の上、玄関の鍵の新設を行いました。また、警察、消防の指導により防犯カメラの設置も予定しております。Wi-Fiの設置につきましては、一部設置をした運動部寮もありますが、経費のかかることでもあり、引き続き検討を重ねて参ります。食事につきましては、一部の運動部寮では、内容について学生から意見を聴取し、可能なものについては、意見を反映させております。また、無駄な経費を見直し、予算の許す範囲で1食単価を上げ質の改善を図るなど試行錯誤を重ねております。

15. 昨年、部活動の年間費用、決算報告についてご質問させていただきましたが、進捗がありましたらご回答願います。

【回答】昨年末の主将・主務会議において各運動部の部費の徴収状況及び管理体制について調査を実施いたしました。その上で、適正な管理、報告を行うよう指導をいたしました。部費、寮費の決算報告につきましては、例年スポーツ振興センターから、各運動部に対して指導を行っておりますが、引き続き指導を重ねて参ります。

【留学関連】

16. 留学に関しての GPA について、適用基準はいつの時点の成績なのでしょう。小数点第 3 位以下の数値はどのように処理するのでしょうか。基準を満たさない場合は申請できないのでしょうか。これ等運用の詳細について説明していただけませんか。

【回答】 留学先大学に GPA の基準がある場合には、留学先大学への出願時点での成績を基準とし、小数点第 3 位以下は四捨五入をして第 2 位まで算出致します。GPA の基準を満たさない場合は申請できません。留学先大学の出願要件（GPA や語学力基準）は大学ごとに異なります。海外留学を目指す場合、日頃より学業に専念されることを願っています。ご不明な点がございましたら、国際交流センターまでお問い合わせ下さい。

17. 留学したいが、就活のタイミングを逃してしまうようで、決断できずに悩んでいます。留学するタイミングの具体的な例をいくつか教えてほしいです。

【回答】 1 年間の長期留学では、留学先国や留学計画によって帰国時期は異なり、場合によっては一般的な就職活動のスケジュールに影響することもあります。3 年生の時に留学される場合は、4 年生の 5 月までに帰国されるケースが多く、帰国後に就職活動をスタート致します。オーストラリアや中国／台湾の場合は 2 月から留学を開始して、翌年の 1 月に帰国をします。アメリカは 5 月から翌年の 4 月までの大学が多いですが、一部の大学では 2 月または 3 月に留学を開始して、翌年の 1 月には帰国できる留学先もあります。帰国後にスムーズに就職活動に移行するためにも、留学の計画段階から就職の情報収集を行い、出発前にもキャリアセンターと密に相談をするなど、しっかりと準備をされることをお勧めいたします。

◆いつ留学するのか？

学年	早期スタートタイプ	ノーマルタイプ
1 年生	<ul style="list-style-type: none"> 夏期語学研修（3 週間）に参加 9 月派遣留学選考試験に挑戦 	<ul style="list-style-type: none"> サークルなど大学生生活に専念 海外留学の情報を集める
2 年生	交換留学、奨学金留学、私費留学など	<ul style="list-style-type: none"> 夏期語学研修（3 週間）に参加 9 月派遣留学選考試験に挑戦
3 年生	帰国後、就活又は大学院進学を検討	交換留学、奨学金留学、私費留学など
4 年生	<ul style="list-style-type: none"> 就活スタート又は大学院進学準備 海外インターンシップに挑戦 	<ul style="list-style-type: none"> 帰国と同時に就活スタート 大学院進学を検討
ポイント	入学前に TOEFL® or IELTS の早期学習スタート（1 年生前期に集中的な語学学習）	入学後、TOEFL® or IELTS の学習スタート（ある程度の学習の負荷が必要）

【広報関連】

18. 毎年のことではありますが、今年度も地方における入試広報活動について多くの要望をいただいております。今後の地方における入試広報活動について教えていただけますでしょうか。

また、山形駅に設置されていた「大東文化大学」の看板の復活、福岡オープンキャンパス開催の近隣県への発信をお願いいたします。

【回答】地方における入試広報活動は下記の通りです。

◎テレビCM

■放送局名（全て日本テレビ系列）

- ・札幌テレビ放送・青森放送・テレビ岩手・宮城テレビ放送・秋田放送
- ・福島中央テレビ・テレビ新潟放送網・北日本放送・山梨放送・テレビ信州
- ・静岡第一テレビ・広島テレビ放送・福岡放送

■放送日：2020年1月4日～10日

■尺：15秒テレビスポット

- ◎福岡ミニオープンキャンパス 7月7日（青桐会・同窓会のご協力をいただきました）
書道講座、為末大・門脇学長・佐藤真太郎トークセッション（読売新聞活字文化推進 会議主催）、進学相談会

- ◎【事前広告】読売新聞広告（西部本社版）、福岡市営地下鉄交通広告、部活ガンバ（WEB）※近隣県の告知については、九州全県、山口県の高校に案内DMを送付しております。

◎シティスケープバス停（看板）

11月下旬から12月上旬まで、札幌、仙台、長野、新潟、富山、静岡、広島、福岡、熊本、鹿児島全国の10都市（計170箇所）の主要路線のバス停に、入試出願を促進するための大型ポスターを掲出する予定です。また、その後も長野、新潟、静岡でも大型ポスターを掲出します。

◎高校訪問

6月初旬より11月下旬にかけて入学センター職員をはじめとする入試アドバイザー（事務職員）を中心に、東京、埼玉を中心とした関東エリアはもちろんのこと、北海道から青森、岩手、宮城、新潟、長野、富山、石川、福井、山梨、静岡の各県ならびに九州で本学への入学・受験実績のある高校を中心に各校の進路指導部を訪問し、進路指導担当教諭に対して直接的に本学のPR活動（前期は入試報告、後期は2021年入試制度改革等）を展開しております。（現在も継続中）。なお、関東エリアとその周辺地域については、同一高校を春・秋の二度にわたり訪問を行った結果、のべ約700校を超えております。

◎進学相談会（ガイダンス）

全国入試開催会場を中心に約40カ所に参画しております。

看板広告については、メディア接触の多様化、特に高校生の接触がスマートフォン中心になっていることを鑑み、WEBシフトを進めており、全ての地域で出稿を見送っております。

【その他】

19. 入学式はさいたまスーパーアリーナ、卒業式は国際フォーラムで定着しつつありますが、入学式は大学で、または入学式と卒業式は同じ場所がいいと思うのですが、今後はどのように考えていますか。

【回答】私は基本的に次のように考えています。

- (1) 「入学式」は単なる「儀式」ではなく、「初年次教育」の一環である。
- (2) 新入生にとって、入学式は自分の「ロールモデル」を見ることのできる場である。
- (3) 「入学式」は、新入生だけではなく、在校生にとっても「教育の場」である。
- (4) 「入学式」と「卒業式」ではその持つ意味合いが異なっているので、同じ場所でやる必然性はない。

このような考えに基づいて、現在のように「入学式」をさいたまスーパーアリーナで、卒業式を国際フォーラムで実施しているということです。

これより以降、この点について少し詳しく述べたいと思います。

- (1) 「入学式」は単なる「儀式」ではなく、「初年次教育」の一環である。

まず、「入学式」は単なる「儀式」ではなく、「初年次教育」の一環である」ということについてです。以前は「入学式」は単に「儀式」であると考えられてきましたが、しかし、私は、「入学式」は最も重要な「教育の場」であると捉えています。

現在、全国の大学が、大学教育の現場における最も重要な課題として捉えているのが、「初年次教育」です。この初年次教育には、入学前に行うもの、入学時に行うもの、入学直後に行うもの、入学後1ヶ月以内に行うもの、前期中に行うもの、一年次全体で行うものなどがあります。

また、ここでの「教育」とは、正規の授業を意味しているわけではありません。正課外の活動も「教育」と捉えなければならないというのが、現在の大学教育の常識です。

本学が、入学前に行っているものとしては、大学全体で推奨しているもの、学部学科で独自に奨めているものなどがあります。また、入学直後に行うものとしては、全学で実施している「ガイダンス」、各学部学科で行っている「オリエンテーション」などがあります。また、入学後1ヶ月以内に行うもの、前期中に行うものとしては、各学部学科で実施している「基礎ゼミ」「フレッシュマンセミナー」（これは正課の授業です）などがあります。

このような「初年次教育」の一環として「入学式」があるということです。もちろん「儀式」に参列するという経験をするのも一つの教育ですが、私はそれだけではないと考えています。それは、その場で「ロールモデル」としての先輩たちの姿を見ることができるといえることです。

- (2) 新入生にとって、入学式は自分の「ロールモデル」を見ることのできる場である次に、「新入生にとって、入学式は自分の「ロールモデル」を見ることのできる場である」ということについて説明したいと思います。

本学の入学式は、在校生の有志たちが、職員の協力の下、儀式を含む入学式の全てを企画し運営しています。それは、「入学式」を、新入生にとって「ロールモデル」を見ることが出来る場にする事を考えてのことです。

「ロールモデル」とは、自分にとって、具体的な行動や考え方の模範となる人物のことです。人は誰でも無意識のうちに「あの人のようになりたい」というロールモデルを選び、その影響を受けながら成長するといわれます。本学では、「ロールモデル」の一つを直に見ることのできる場として、入学式を捉え、さいたまスーパーアリーナで入学式を実施しています。

この「ロールモデル」には、

- ① 儀式を含んだ「入学式」全体を取り仕切る先輩たちの頼もしい姿
- ② パフォーマンスをする先輩たちの晴れやかな姿

という二つの側面があります。

まず「①」の「儀式を含んだ「入学式」全体を取り仕切る先輩たちの頼もしい姿」についてですが、新入生がさいたまスーパーアリーナでの入学式に出席するとき、駅を出てから、アリーナに入り、席に着き、儀式やクラブの学生たちのパフォーマンスを見、そして式が終わってアリーナを出るまで、その全て場面で先輩たちがチームを組んで活躍しているのを目にすることになります。しかも、これまでの小学校、中学校、高等学校での入学式では、先生や職員が取り仕切っていた神妙な「儀式」のところ、さらには、小学校や中学校、高等学校の規模ではなく、3000人という新入生が一堂に会した非常に第規模な場に於いて先輩たちが取り仕切っているのを目の当たりにすることになります。

また、「②」の「パフォーマンスをする先輩たちの晴れやかな姿」については、もう改めて言う必要もないことですが、彼らの活動を目にすることは、先輩たちの活力を感じるようになるものと思います。

東松山校舎でやるとなると、体育館の規模からして、以前やっていたように午前の部と午後の部に分けて2回実施しなければなりませんし、「儀式」の前後に学生たちがパフォーマンスを行うとしても、体育館ではできません。そうすると、規模においても、学生たちの活動においてもかなり制限を受け、またかなり煩雑なものになってしまいます。なにより最も大事なことは、3000人の新入生が一堂に会するという「場」に、新入生の一人ひとりが身を置いているのだと実感し、一学年3,000人、四学年で12,000人という規模の大きな大学に入学したのだと認識し、大東文化大学に入学して良かったと思えるようになることだと思います。

- (3) 「入学式」は、新入生だけではなく、在校生にとっても「教育の場」である。

第三に、「「入学式」は、新入生だけではなく、在校生にとっても「教育の場」である」ということについて述べたいと思います。

入学式をさいたまスーパーアリーナで実施することの教育上の意味ですが、それ

は新生だけでなく、在学生にとっても大きな「教育の場」であるということについて説明したいと思います。

現在、大学教育は、以前のような座学^{*i}中心ではなく、アクティブ・ラーニング^{*ii}やPBL (Problem-based Learning) ^{*iii}がこれからの大学教育の在り方として推奨され、ほとんどの大学で実施され、年々増加しています。本学は、正課の授業だけではなく、学内のあらゆる活動において、アクティブ・ラーニングやPBLを実施することとしています。

例えば、Daito Education PLUS^{*iv}の活動、新人アスリートセミナー、TOKYO2020 キックオフイベント、フレンドシップウォーク、ビブリオバトルなどは、全て PBL 型の活動です。その中の一つに 2018 年度の入学式がありました。

昨年度の入学式は自治会が主体となって企画、運営しましたが、運動部をはじめとして多くの学生がそれに参加しました。つまり、本学の入学式は、ただ単に新生を迎えるための「儀式」ではありません。新生の「教育の場」でもあり、在校生のための「教育の場」でもあるということです。

- (4) 「入学式」と「卒業式」ではその持つ意味合いが異なっている。したがって、同じ場所でやる必要はない。

最後に、「入学式」と「卒業式」ではその持つ意味合いが異なっていることについて、簡単に述べたいと思います。

すでに述べましたように、「入学式」は、新生にとっても在校生にとっても一つの「教育の場」であると言えますが、「卒業式」はそうではありません。「卒業式」は、本学での教育が終わった皆さんを祝福するとともに、社会に出ることになったことへの餞の言葉を贈る場です。そのように、「入学式」と「卒業式」ではその持つ意味合いが異なっています。したがって、同じ場所で、また同じ形式で行う必要はないと考えます。

*i座学：演習や訓練などの実技に対して、講義形式の学科のこと。

*ii教員による一方的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法の総称。学修者が能動的に学修することによって、認知的、倫理的、社会的能力、教養、知識、経験を含めた汎用的能力の育成を図る。発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習等が含まれるが、教室内でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーク等も有効なアクティブ・ラーニングの方法である。(出典：文部科学省(2012)「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～(答申)用語集)

*iii PBL (Problem-based Learning)。生徒・学生中心の教育手法で、生徒・学生が答えが一つに決められていない問題を解決する経験を通し、科目について学ぶものを指します。PBLが開発されたマックマスター大学のウェブサイトによると、PBLは問題(課題)が学びを駆り立てる学習であり、そこでは、生徒・学生は知識を得る前に問題を与えられます。生徒・学生は問題を解決するために知識の獲得が必要であることに自ら気づくのです。<https://edtech-media.com/archives/19595#PBL> 2019/11/08 14:56

*ivDaito Education PLUS：大東文化大学では、2017年、学生の新しい学びの場の提供と、社会で活躍する「大東人」の育成をめざして「Daito Education PLUS」を結成しました。学科の授業や学習に加えて(PLUSして)、課外活動を中心に学内のさまざまな活動を学びの場に変えて、学びを通して成長することをめざす取り組みです。／「学生リーダー育成プログラム」は、こうした活動に参加する前の基礎的能力を養うことを目的としたものです。大東文化大学を元気にし、社会で飛躍する「大東人」を目指す人のための基礎プログラムです。(HPより)